

1 (柱01)一人一人に応じた最適な学びを提供する

成長の基盤となる資質・能力の育成(確かな学力の育成)

ICT活用推進事業費(40,052千円)

- (1) 長崎県立学校ICT教育支援センターの整備
 - ・ 1人1台パソコン等の活用促進を図るため、端末やOSの不具合や、各種アプリケーションの活用法等に関する学校・教職員からの相談に対応する窓口を設置
 - ・ 端末やOSの不具合等に対応するスタッフを学校に派遣
 - ・ 月一回の協議で情報交換を行い、必要な情報を県から学校に提供
- (2) 授業目的公衆送信補償金
学校の設置者が管理団体に補償金を支払うことにより、教員が他人の著作物を用いて作成した教材を生徒の端末に送信したり、サーバにアップロードしたりすることなど、遠隔合同授業以外での公衆送信についても無許諾で行うことができ、著作権の保護と著作物の円滑な利用促進につなげる。

教育の情報化を推進するための研修等

- (1) 教員研修等の実施
 - 各学校においてICT活用を効果的に推進するための研修会の実施
 - 1人1台端末における各種アプリケーションの活用スキル等を高めるためのオンデマンド型研修の実施
 - 各学校における情報モラル教育の体系的な実施を推進するための研修会の実施
 - 高等学校における共通教科情報科に関する研修の実施
 - 高等学校における遠隔授業の円滑な受信に向けた研修の実施
- (2) クラウドサービス等の活用促進
 - クラウドを活用した各種アプリケーションの活用マニュアルや、教員のスキルアップを図るための研修資料の活用
 - クラウドを活用したエドテック(E d t e c h)サービスに関する最新の情報の提供
- (3) ICT教育を推進するための広報の充実
 - ICT通信の発行
 - 遠隔授業等の取組を発信するホームページの運営

「ながさきの魅力を心と記憶に刻む」「人と産業に出会う」ふるさと教育の推進

NEXT長崎人材育成事業費【再掲】

(事業期間: 令和6年度~)

アプリ開発講座を通じた教科等横断的な学び
大学や企業等と連携し、地域課題をデジタル(アプリ)で解決する手法や考え方を学ぶ
アプリ開発講座やコンテストを実施する。

空飛ぶ未来を拓くドローンワールドプロジェクト費【再掲】

(事業期間: 令和6年度~)

- ドローン入門講座
- 目的: 高校生のドローンに触れる・学ぶ機会を創出し、関心を高める。
- 内容: ドローンのプログラミングや操縦等の基本を学ぶ県教委主催の集合研修
- 対象: 県内高校生(希望制)

【教育DX推進室】

遠隔教育センターを中心とした教育DXの推進

長崎県遠隔教育センター運営費(18,800千円)

(事業期間：令和5年度～)

- (1) 長崎県教育センター(大村市)内に開設する「長崎県遠隔教育センター」より、ICTや遠隔授業を活用し、地域や学校規模にとらわれない多様で豊かな学びを提供するとともにICTを活用した効果的な授業方法や学習方法について実証・研究を行い、その成果を県立高校に還元する。

離島・半島地域の小規模高校を対象とした、各教科の専門教員による授業配信及び単位認定

外部人材を活用した、多様な学びのコンテンツの提供による、生徒の学びの充実
EdTechサービスを利用した効果的な実習の方法や、2Dメタバースを活用した生徒との円滑なやり取りなどICTを活用した効果的な授業方法についての検証



離島・半島地域の小規模高校における遠隔授業の様子

- (2) 遠隔授業等を活用した、学びの機会の充実のためのネットワークの構築
遠隔授業やICTを活用した教育方法の充実により、学校間で連携して生徒の学びを充実させるためのネットワークを構築することを目指す。
オンデマンド教材等を活用した個別最適な学びの実現などについての実証・研究

高等学校DX加速化推進事業費(163,367千円)

(事業期間：令和6年度～)

情報・数学等の教育を重視するカリキュラムの実施およびICTを活用した文理横断的・探究的な学び強化のための環境を整備し、高等学校におけるデジタル等成長分野を支える人材育成の充実を図る。

- (1) 採択校による主な取り組み
データサイエンスやAIの活用を前提とした実践的なカリキュラムの開発
実践的なプログラミングや生成AI活用スキルを習得させる学校設定科目の実施
専門的外部人材の活用した地域課題解決をテーマとした探究活動の実施
遠隔配信技術を活用した国外・県外の高校生との意見交流会や研究発表会の実施
デジタルを活用したオンライン交流スペースの整備
- (2) 長崎県教委による取り組み
県内高校生の手で、人工衛星を設計・製作し、投入・運用・軌道離脱させ、その過程を通じてICT高度活用人材を育成
参加生徒の協働・調整の力、課題解決能力、自己効力感、表現力、プログラミング的思考等の涵養、宇宙工学の最新の技術情報に触れることによる興味関心の向上など

2 (柱02)新しい時代に求められる魅力ある学校をつくる

子どもたちのために教員が輝く「働きがい」改革

【教員のなり手不足解消プロジェクト費【再掲】】

(事業期間：令和6年度～)

深刻な教員のなり手不足の最大の要因である教員の業務負担軽減を図り、社会に広がるブラックなイメージを払拭するとともに、優秀な人材を確保することにより子どもたちへのより良い教育を実現する。

県立高校・県立中学校におけるデジタル採点システムの活用

- ・教員のテスト採点業務等の効率化を図るため、全ての県立高校・県立中学校に導入したデジタル採点システムの更なる活用
- ・令和7年度県立中学校入学選抜に係る適正検査において、試験的にデジタル採点システムを導入